No.216
令和８年９月定例会号
2026年11月１日発行



いるま 市議会だより

入間市マスコットキャラクター
「いるティー」

９月定例会

第７次入間市総合計画・基本構想の策定について など32の議案等を審議 ..... P. 2

定例会議決結果 ..... P. 3
クローズアップ討論 ..... P. 5
14名が一般質問 ..... P. 6

表紙：入間万燈まつりのひっかわせ（令和６年撮影）

第７次入間市総合計画・基本構想の策定についてなど32の議案等を審議

令和８年９月
定例会
８月28日～９月28日
（会期32日間）



入間市マスコットキャラクター
「いるティー」

▶**市長提出議案　31件**

専決処分……１件　　条例……６件
一般案件……９件　　補正予算……６件
令和７年度決算認定および関連議案……９件

▶**委員会提出議案　１件**

これらの条例を可決しました

一部改正	議案第75号	入間市総合計画審議会条例等の一部を改正する条例
	議案第76号	入間市部設置条例の一部を改正する条例
	議案第77号	**入間市男女共同参画推進センター条例の一部を改正する条例** 入間市男女共同参画推進センターが市役所本庁舎内へ移転することに伴い、本庁舎管理にあわせる改正です。 １．位置を入間市豊岡一丁目16番１号とし、２．休所日を⑴日曜日及び土曜日⑵国民の祝日に関する法律に規定する休日　⑶12月29日から翌年の１月３日までの日（前に掲げる日を除く）に定め、３．閉所時間を午後４時30分とするなど、当センターに関する必要事項を定めるものです。
	議案第78号	**入間市印鑑条例の一部を改正する条例** 改正内容は、⑴特定在留カード及び特定特別永住者証明書を用いて、窓口及び多機能端末から印鑑登録証明書を取得可能。⑵漢字圏の外国人住民であっても本国の公的身分証明書の氏名に漢字が使用されていない場合、住民票の備考欄に記載されている氏名の片仮名表記の印鑑で印鑑登録が可能。⑶磁気ディスクと規定されている表現を電磁的記録媒体に改め、デジタル技術の活用に対応した環境を整備するものです。
新規	議案第79号	**入間市工場立地法地域準則条例** 本条例は、国の工場立地法で定める緑地面積率等の基準では、地域の実情に合わないため、企業活動を支援する目的で独自の地域準則条例を制定し、緑地及び環境施設の基準を地域に合わせて緩和し、既存企業の定着・事業拡大や新規企業の誘致の促進を目指すものです。条例は全８条で、趣旨・定義・緑地及び環境施設の面積割合・敷地が複数の区域にまたがる場合の扱い・屋上緑化の算入割合・他自治体との協議・周辺環境への配慮・委任事項を定めています。
一部改正	議案第80号	入間市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

議決結果

議案等の詳細は、「入間市議会 情報公開システム」でご覧いただけます。

賛否が分かれた議案等

議案等番号		件名	自由民主党入間市議団											公明党入間市議団				日本共産党入間市議団			市民の声		市民フォーラム	無所属の会	賛成	反対	議決結果等
			横田淳一	宮岡治郎	小島清人	内村忠久	古仲リカ	長谷川渉	双木小百合	大野勉	池畠司	吉田賢一	丹下敦子	永澤美恵子	向口文恵	末次正	栗山英美	安道佳子	佐藤匡	田山雅子	町田健治	山川さおり	野口哲次	細田智也			
市長提出議案	79	入間市工場立地法地域準則条例	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	18	3	原案可決

○：賛成　×：反対　欠：欠席　退：退席

全会一致で可決された議案等

議案等番号		件名
市長提出議案	74	専決処分の承認を求めることについて（令和８年度入間市一般会計補正予算(第３号)）
	75	入間市総合計画審議会条例等の一部を改正する条例
	76	入間市部設置条例の一部を改正する条例
	77	入間市男女共同参画推進センター条例の一部を改正する条例
	78	入間市印鑑条例の一部を改正する条例
	80	入間市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
	81	市道路線の認定について（市道Ａ770号線）
	82	市道路線の廃止について（市道Ｄ258号線）
	83	市道路線の認定について（市道Ｄ529号線）
	84	市道路線の認定について（市道Ｆ849号線）
	85	市道路線の認定について（市道Ｇ700号線）

議案等番号		件名
市長提出議案	86	Ｐ４－３号線外街路築造及び歩道橋設置工事（その２）請負契約の締結について
	87	入間市立学校給食センター建設工事（既存棟解体工事）請負契約の締結について
	88	財産の取得について
	89	第７次入間市総合計画･基本構想の策定について
	90	令和８年度入間市一般会計補正予算(第４号)
	91	令和８年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）
	92	令和８年度入間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
	93	令和８年度入間市介護保険特別会計補正予算（第１号）
	94	令和８年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）
	95	令和８年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）

議案等番号		件名
委員会提出議案	3	地方自治法第180条の規定により市長が専決処分することができる事項の一部改正について

■令和７年度決算認定および関連議案は、閉会中の継続審査として、９人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

議会人事

決算特別委員会

委員長　双木小百合　　副委員長　大野　勉

委員　安道　佳子　町田　健治　向口　文恵　丹下　敦子
吉田　賢一　栗山　英美　長谷川　渉

PICK UP!

議案をピックアップ

定例会で審議された議案のうち
この議案の概要をご紹介します。

議案第89号

第７次入間市総合計画・基本構想の策定について

１　10年間のまちづくりの目標

「みんなでつくる 誰もが豊かさを
実感できるまち いるま」

２　計画構成、計画期間

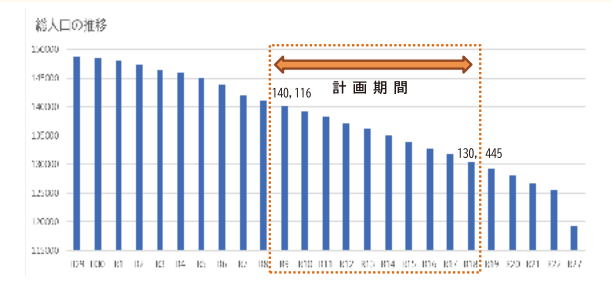
この総合計画は、基本構想、基本計画および年度ごとに策定する実施計画で構成します。

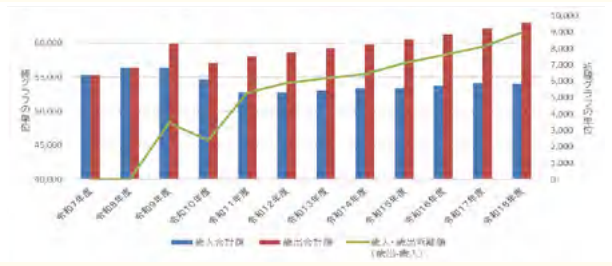
基本構想は、令和９年度を計画期間の始期、令和18年度を終期（目標年次）とする10年間を計画期間とします。



３　計画の基本指標

本計画を推進するにあたり、基本指標として将来人口および財政見通しを示します。





４　土地利用

⑴都市構造

地域の特性を踏まえながら拠点を形成するとともに、自然環境との調和に配慮した持続可能な都市構造とします。

⑵土地利用構想

都市的土地利用と、自然的土地利用に分けます。

５　計画の基本的視点

⑴人口減少、少子化・高齢化への対応
⑵こどもまんなかの視点による行政運営
⑶人と自然が共生した持続可能な社会の構築
⑷安全・安心な生活環境と都市の持続性の確保
⑸デジタル技術の進展に対応した行政運営

６　施策の大綱

第１章　こどもたちが自分らしく健やかに育つまちづくり（こども支援・教育）
第２章　多様性を認め世代を超えて互いに成長し、文化を伝え育むまちづくり（ダイバーシティ・コミュニティ・市民文化・生涯学習）
第３章　健康で心豊かに過ごせるまちづくり（健康・スポーツ･福祉）
第４章　地域が持続的に発展するまちづくり（経済・産業・観光）
第５章　都市と自然が調和した快適に過ごせるまちづくり（都市環境・自然環境・生活環境）
第６章　安全で安心して暮らせるまちづくり（危機管理・生活安全）

７　基本構想推進イメージ



クローズアップ
討論



入間市マスコットキャラクター「いるティー」

議案第79号
入間市工場立地法地域準則条例

工場立地法に基づく緑地面積率等について、地域の実情に応じた基準を定め、工場用地の有効活用を促進し、地域産業の活性化を図るもの。

反対　日本共産党入間市議団

工場立地法は、企業自身を守り企業価値を向上させるものと考える。本地域準則条例は、工場立地法の規制緩和に他ならない。工場立地法は、これまでの公害で苦しんできた歴史を反省し、二度と悲惨な被害者を出さないための現在の到達点。緑地面積を減らすということは、工場立地法の趣旨に反する。企業を誘致する方法は、入間市が環境を守るコストを企業と分かち合い工場立地法をしっかりと守っていくことと考える。そのことが、狭山茶を始め地域産業の活性化を図ることに繋がることを確信し、反対の討論とする。

賛成　自由民主党入間市議団

事業者は、これまで緑地としていた部分を「新たな生産設備への投資」に充てられるなど、「敷地の有効活用」を図ることが可能となるほか、「緑地管理の経費削減」にも繋げることができ、既存企業の定着や事業拡大、企業誘致による新規雇用の創出及び税収の増加も期待できることとなると考える。また事業者に対し、周辺地域の生活環境の保全に寄与する社会貢献活動に取り組むことを定めている点を評価する。

以上のことから、「入間市工場立地法地域準則条例」についての賛成討論とする。

賛成　公明党入間市議団

本条例は、国の一律基準では対応しきれない地域事情を踏まえ、入間市独自の緑地面積率などの基準を定めるもの。企業の事業継続や設備投資、新規立地を後押しし、市外転出の防止にも資する制度として評価する。区域設定は地域の実情に応じて丁寧に行われ、住環境への配慮も確保されている。さらに事業者に緑地の質向上や適正管理、社会貢献を求め、企業と地域の共生を図っている。緑地率52%という豊かな環境や工場の環境性能向上も踏まえ、地域経済の活性化に寄与する条例として賛成。

賛成　無所属の会

本条例は、地域の実情に応じた基準を定め、既存企業の設備投資や事業拡大を後押しするもの。単に基準を緩和するのではなく、住宅の有無や土地利用の状況を踏まえ、地域ごとに基準を設定している点も重要である。企業活動を支えながら、市民の生活環境にも配慮し、企業には地域の一員として周辺環境の保全に取り組んでいただくよう地域貢献への取組みが大切。制度を市内企業にしっかり周知し、既存企業の定着と成長、新たな企業からも選ばれる入間市につながることを期待し、賛成。

QRコードから、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



クビアカ対策・小中学校体育館エアコン整備

池畠　司　議員

質　問　クビアカツヤカミキリ（以下クビアカ）は桜などに食害を及ぼし倒木の原因となる特定外来生物。その場での捕殺が原則だが、市民が成虫やクビアカのフラス（木くず）を発見した際に、市のLINEから通報できるようにしては。

環境経済部長　市の通報フォームを作成する場合、既存の県のフォームとの関係性の整理が課題。通報しやすい環境づくりと実効性のある情報共有体制のあり方を検討。

質　問　クビアカ捕殺の奨励金等のインセンティブの検討を。

環境経済部長　財政面・運用面で課題があるため慎重な検討が必要。引き続き研究。

質　問　小中学校屋内運動場（体育館）へのエアコン整備にかかる期間・費用は。

教育部長　複数並行整備の場合、設計・工事それぞれに１年の計２年。費用は文科省想定額で断熱工事含め１校あたり約6,600万円。これに設計・工事監理費を加えた額。

質　問　今後のエアコン整備の展望は。

市　長　近年の猛暑や防災機能強化の観点から必要性を強く認識。国も避難所となる小中学校体育館の設置率100%の達成目標を令和13年度に前倒しの意向。早期かつ短期間に整備することを決断。令和９年度予算から具体的な計画を示せるよう調整を図る。



捕殺済の成虫（豊岡・新しきを知る公園）と幼虫のフラス（加治丘陵遊歩道）



こどもの自由な遊び場・高次脳機能障害への支援

細田　智也　議員

質　問　①こどもが自ら考え、選び、挑戦する自由な遊びをどのように捉えているか。②市民主体で行われているプレーパークをどのように評価しているか。

こども支援部長　①自主性や創造力、社会性等を育む機会であり、こどもの健やかな成長に欠かせないものと認識。②自由な遊びや失敗の経験を通じて、自主性や創造性、協調性等を育む機会であり、地域交流や子育て家庭を支える場にもなっている。

質　問　今ある場所や地域の力を生かし、こどもの自由な遊び場や機会を広げる今後の市の方向性は。

市　長　こどもは遊びの天才であり、身近な場所を活用して自由に遊ぶ姿が理想。大人が冒険的な遊びを許容し、温かく見守る環境も重要。今後はこどもの声を聞き、学校や地域、市民団体と連携し、学校を活用したプレーパークを展開していきたい。

質　問　①高次脳機能障害のある方や家族が抱える課題の認識は。②理解促進や相談窓口の周知をどのように進めるか。

福祉部長　①外見から分かりにくい障害で、周囲の理解を得にくく、必要な支援につながりにくいことが課題。②HPやパンフレット等で障害の特性や相談窓口を周知し、早期に必要な支援につながるよう取り組む。



市内の公園看板『遊びの自由を、ともに守ろう』

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



国際教育充実にJICA活用
学校防災・命名権

栗山　英美　議員

質　問　小中学校の国際教育をさらに充実させるため、国際協力機構（JICA）が提供する出前講座の導入、教材や教員研修プログラムの活用、校外学習としてのJICA施設の利用は有益であると考える。見解は。

教育長　国際教育の重要性は一層高まっている。JICAの豊富な実績を踏まえ、JICAが展開する各種プログラムや学習機会は本市の教育現場にとって有益である。各学校への情報提供を進め、取組を支援していく。

質　問　JICAとの連携協定締結への見解は。

教育長　大変価値あるものと捉えている。検討事項を精査し、引き続き研究していく。

質　問　滝野川第三小学校の火災事故を受けて、安全点検と対策を速やかに実施したとのこと。防災設備や避難器具について児童生徒が安全に確実に使用できるものを導入することについての、見解を伺う。

教育長　児童生徒が安全に使用できるよう避難訓練などで工夫していく。新製品の導入については総合的に検討していく。

質　問　市の財源確保のため、ネーミングライツについて北見市の事例を参考に、市道や公園等公共インフラまで拡大することが効果的と考えるが、見解を伺う。

企画部長　多様な市有財産にネーミングライツを活用し自主財源確保を進めていく。



JICA地球ひろばパンフレット



学校行政・地域コミュニティ・道路行政

丹下　敦子　議員

質　問　学校業務時間外の留守番電話応答のあり方は。

教育部長　Ｒ２年９月より導入。働き方改革による教職員の負担軽減に基づく。留守番伝言付きではないため、保護者からの緊急要件は市役所の緊急連絡番号で対応。

質　問　電子回覧板導入の経緯と目的は。

市民生活部長　自治会役員の負担軽減として現在試行段階。回覧板以外の多機能付き。災害時の安否確認・自治会費カード決済・行事の共有・アンケートや出欠確認等。

質　問　自治会の費用負担は。

市民生活部長　基本的な機能の利用は手数料なし。利用する機能により手数料が生じるが、大きな負担が及ばないように検討。

質　問　今後の説明会の予定は。

市民生活部長　順次開催予定あり。

質　問　入間市駅南口歩道の現状・課題は。

都市整備部長　インターロッキングの波打ち、経年による街路樹の大径木の根上り、西武入間ペペ駐車場付近の民有地への出入り口による傾斜、は確認済み。

質　問　安心して歩行できる歩道の見直し。

都市整備部長　市内全域の改善に向けた検討を重ねているが、予算・人員の制約の中、優先順位を勘案。総合的に計画的な維持管理と対応を進める。



入間市駅南口駅前周辺の歩道

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。

QRコードから、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



ICT支援員拡充
ふるさと納税手数料削減

末次　正　議員

質　問　本市のタブレットの配置状況とトラブルの発生状況を問う。

教育部長　配置台数は、小中学校、教員、予備機を含めて合計10,705台。故障状況は令和７年度396件発生。

質　問　文科省はICT支援員を４校に１人配置を目標とする。本市の配置状況を問う。

教育部長　専任ICT支援員は未配置。

質　問　教員と支援員の連携によるタブレット活用が、授業の質向上に資するのでは。

教育部長　次期学習指導要領で情報教育がさらに強化される。教員とICT支援員の連携は極めて重要。ICT支援員拡充を含む技術体制の強化を前向きに検討する。

質　問　ポータルサイト手数料の割合は。

企画部長　直近４ヶ年度で概ね11%～13%程度で推移している。

質　問　手数料は個別契約で上限なし。これまで値下げ交渉を行ったか。

企画部長　独自での個別ポータルサイトとの値下げ交渉実績はない。９月11日の公表結果で、本市にも有利となる回答を確認。国の動向を注視し、効果的な運用に努める。

質　問　手数料の安い新興サイトとの契約を検討したか。

企画部長　手数料率の低さのみでなく、費用対効果など総合的に勘案し検討する。



タブレットを活用する教員と
サポートするICT支援員



防犯まちづくりの推進
教育環境・教育行政

町田　健治　議員

質　問　防犯カメラの設置状況について。

危機管理安全部長　防犯カメラの設置は、37施設に180台のカメラ。見守り自販機もある。防犯カメラ画像利用は警察からの犯罪捜査協力依頼によるもの。防犯カメラの設置台数を増やすことよりも、防犯パトロールや防犯啓発活動に力を入れている。

質　問　入間市の小中学校体育館における、今後のエアコン設置予定について。

教育部長　すべての小中学校の体育館に、早期かつ短期間にエアコンを整備する方針で、検討を進めている。

質　問　普通教室を避難スペースに使うことについて。

教育部長　体育館及び特別教室が避難所として位置づけられている。普通教室は原則として利用することを想定していない。

質　問　教室は避難所になる体育館以上に安全な場所として認知されている。安全な教室から外へ出る避難の危険性について。

教育長　学校防災マニュアルでは、原則として校舎外に避難することが示されている。地震がおさまったら必ず校庭に避難するという一律の対応ではなく、地震の規模や施設の被害状況に応じて判断する。重要なことはその時の状況に応じた最も安全な行動を選択することだと考えている。



防犯カメラ設置状況



地震時の安全な避難を

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。

QRコードから、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



ケアマネジャー不足・障害支援区分認定について

永澤　美恵子　議員

質　問　令和９年度の介護保険法改正は、2040年問題を見据え持続可能な介護保険に向けての重要な大改正となる。ケアマネジャーに対する主な改正は。

健康推進部長　主任ケアマネジャーを含め、５年ごとの更新制度とそれに伴う研修が廃止。定期的な研修は継続し、事業者が受講時間の確保や状況を確認。

質　問　負担の大きい「シャドーワーク」軽減のため、介護者以外の家族の問題を福祉・子育て機関などと情報共有する場を設け、各分野が支援できる道筋を作るべき。

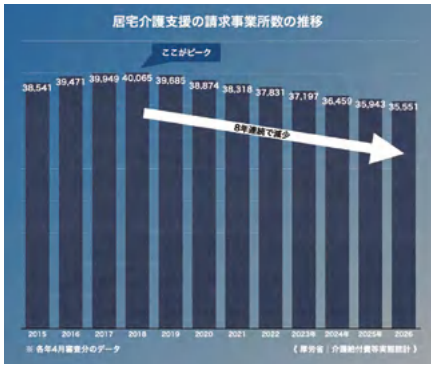
健康推進部長　重層的支援体制等の会議の場にて個別に対応。負担軽減に努力する。

質　問　平成25年施行された障害者総合支援法は障害者（児）が必要な支援を受けながら生活できる社会を目指したもの。中でも、障害者区分認定は、個々の３年間の支援の量を決定する重要なもの。その１次判定の核となる認定調査員の現状は。

福祉部長　職員２名体制。専門的知識を有し、障害支援区分認定調査員研修を修了した者を採用。フォローアップ研修も受講。

質　問　障害者の増加、中でも判定に時間を要する行動障害が増加傾向にある。認定調査員の増員等調査環境を整えるべきでは。

福祉部長　状況により、今後検討する。



ケアマネジャーの高齢化等により、減少する居宅介護事業所



風水害時の避難所と体育館エアコン・トイレ改修

田山　雅子　議員

質　問　風水害時の避難所は地区センター本館にこだわらず安全に使えるところから順に開設すべきでは。また、公共施設統廃合が進むと避難所が不足する恐れがあるのでは。

危機管理安全部長　入間市地域防災計画に基づき対応している。風水害時等には予め決めた順位に従い開設するが、天候の状況によっては本館にこだわらず開設することもあり得る。可能であるならより多い避難所があると良いが、人口減少や財政面や施設の老朽化等を考えると統廃合はやむを得ない。統廃合で特定のエリアで一時的に地域の指定避難所が使えない状況になる場合も、広域的にとらえ柔軟に避難誘導する。民間施設への協力要請も考えていく。

質　問　小中学校体育館へのエアコン設置およびトイレ洋式化の状況、および今後の改修の見通しは。

教育部長　エアコン設置・トイレの洋式化は必要と認識している。体育館へのエアコン設置は１校のみ。早期かつ短期間に設置する方針で検討中だが、まだ具体的なことは何も決まっていない。トイレの洋式化については公共施設マネジメント事業計画に基づき、体育館改修工事の際に合わせて修繕していく。



高倉小学校の体育館

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。

QRコードから、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



就学援助制度の拡充を
平和都市宣言の推進を

安道　佳子　議員

質　問　就学援助制度は、全ての子どもが等しく義務教育を受ける機会を保障するための制度。円安・物価高で暮らしが大変に。当市の子どもの貧困の状況はどのようか。

教育部長　当市の子どもの貧困率は令和６年度8.2％で平成30年度の7.8％より悪化している。母子世帯等は更に厳しく、物価高による子育て世帯への影響は大きい。

質　問　就学援助制度の活用状況は令和元年度と令和８年度で比較するとどうか。

教育部長　小学校は、令和元年度の認定率が12.5％で令和８年度は10.7％に。中学校は、令和元年度の認定率14.8％が令和８年度には12.5％と、共に減少傾向にある。

質　問　生活実態と認定基準に乖離があるのではないか。物価高に対応した認定基準の見直しが必要ではないか。

教育長　近隣市の状況等調査研究したい。

質　問　入間市平和都市宣言の今日的役割について、市長のご認識はいかがか。

市　長　平和都市宣言の恒久平和の理念に基づき、戦争の悲惨さ命の尊さを伝えるために時代に応じて平和事業を推進したい。

質　問　広島平和祈念式典への市民代表派遣は意義ある事業であり、再開が必要では。

市　長　令和２年度以降中止している。事業費、費用対効果等含め検討が必要である。



広島原爆ドームと周辺の様子



地域運営を地域に託す・
制度の狭間への支援体制

双木　小百合　議員

質　問　自治振興支援機能と市民活動は。

市民生活部長　地区センター機能で事務を担い市民活動を推進するも、担い手や役員のなり手不足が課題であるが、支えていく。

質　問　地域運営の財源と権限の考え方は。

企画部長　未来の地域経営に関し、概念的な話となるが、今後は、地区センターを中心として地域政策を推進する必要がある。その上で、地域ごとの特色に応じて検討された地域政策に対して財源を確保する、という地域経営の視点を中長期的に実現できることが望ましい。

　各区長会単位で地域活動の使い道を決める地域政策を実施した「区・自治会運営費補助事業」や「市民提案型クラウドファンディング財源」による金子e運動会はeスポーツ（R8.8.9は太鼓の達人）を通し世代を超えた交流に150名が参加した例である。

質　問　地域運営の担い手と市の関係人口。

企画部長　地域と関係人口の双方の力を生かす地域運営に参画できる仕組みを研究。

質　問　支援の狭間の課題を抱える対象者をどう支えるか。

福祉部長　重層的支援体制整備事業において、支援の狭間や複合課題を抱える世帯に対し、多機関協働事業を中核とした包括的アプローチで必要な支援に繋ぐ。



ひゅーがさんとボランティアスタッフ運営の
金子e運動会　太鼓の達人で大熱戦

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。

QRコードから、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



環境行政・健康推進行政

大野　勉　議員

質　問　市民清掃デーの開催方法の変更により、連合区長会等からの要望や苦情は。
市民生活部長　実施状況として大きな要望や苦情は少なく、問題なく実施できた。
質　問　市民清掃デーの実施方法の変更は。
環境経済部長　ごみ運搬方法の変更、清掃活動内容の見直し、活動に対する補助金を、環境美化活動に対する奨励金に変更。
質　問　市民清掃デーの実施状況は。
環境経済部長　発生したごみは、１週間以内に、全て安全に収集することができた。
質　問　清掃デーのドローンでの撮影は。
環境経済部長　視覚に訴えるPR方法として有効だが、費用対効果など検討が必要。
質　問　武道館の施設概要は。
健康推進部長　柔道場３面、剣道場６面、会議室等の他、別棟に６人立ちの弓道場。
質　問　武道館へエアコン設置の可能性は。
健康推進部長　冷房設備の整備は重要な課題と認識しており、公共施設マネジメント事業計画等を踏まえ協議していく。
質　問　避難所としての指定の状況は。
危機管理安全部長　緊急避難場所の他、814名が収容できる指定避難所として指定。
質　問　武道館敷地内の排水ポンプの状況は。
都市整備部長　平成11年の床上浸水28戸等の被害を受け、排水ポンプ施設を更新。



市民清掃デーの活動状況



入間市武道館



身寄りのない高齢者支援・給食センターの利活用

向口　文恵　議員

質　問　本年６月に、頼れる身寄りのない高齢者の支援強化を盛り込んだ、社会福祉法などの一括改正法が成立。関係機関と連携した、支援体制整備の着手を。
福祉部長　ガイドラインを確認し既存事業や連携体制を整理し支援体制を検討する。
質　問　多様なニーズに対応できるよう、民間事業者提供のICTを活用した見守りサービスを新規事業として導入できないか。
福祉部長　必要性は認識。導入自治体を参考に調査・研究を進める。
質　問　既に八王子市や立川市でも導入されているが、「おいしい給食」と評判の本市の給食センターを、給食を食べに来る不登校児童・生徒の「居場所」として活用できないか。
教育長　「給食」をきっかけとして外に出る機会が生まれることはアプローチとして有効だが、「予算確保」「安全面」等の現実的な課題もある。中長期的視野に立ち、研究・検討を重ねていく。
質　問　将来的に児童・生徒数が減少することを踏まえ、給食センターの余力を支障のない範囲で、新たな歳入確保や地域経済の活性化につなげられないか。
市　長　都市計画法や国の交付金の制限、衛生上の懸念を考慮すると難しい。



二学期より稼働している新給食センターと「おいしい給食」

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。

QRコードから、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



クラウド ファンディング 小中学生 通学の安全対策

宮岡　治郎　議員

質　問　クラウド（群衆からの）ファンディング（資金調達）について。⑴実例の中に、市の特徴は反映するか。⑵ふるさと納税との相違は。⑶寄付金の募集期限までに、目標額に達しない場合には、どうするのか。

企画部長　⑴旧黒須銀行の復元修理工事では、寄付者の名前を屋根瓦に記入している。⑵取り組む事業を具体的に示し、趣旨に共感した方から応援を募る。⑶募集方式で異なる。例①不成立となり返金する。例②受け入れて、事業内容を踏まえ実施する。

質　問　小中学生の通学について。⑴交通安全で、学校から児童生徒への教育的配慮は。⑵小中学校の統廃合で、新たな課題の発生は。⑶法的な交通規制では。⑷通学路の市による対策には、他に何があり得るか。

教育長　⑴様々な場面で発達に応じ、小学低学年では基礎を、高学年から中学生では自転車のルールを指導している。通学班の基準は、３名以上で、班長は４年生以上。

教育部長　⑵これまでの登下校の経路や状況を踏まえつつ、安全確保に万全を期す。自転車通学の生徒は、増加の可能性がある。

危機管理安全部長　⑶スクールゾーンは、市内20か所で実施。道路標識は、案内・警戒・規制等の５種類。⑷路面ステッカー、電柱幕等で、生徒が考えたデザインもある。



扇小学校の通学路を集団登校する児童たち



入間市のごみ出しの問題について

佐藤　匡　議員

質　問　ごみ出し支援の「見守りボランティア事業」における、協力員及び利用者数と、その推移は。

福祉部長　H29年度事業開始からの累計登録者数は協力員59名利用者99名、R5年度利用者15名協力員11名、R6年度利用者17名協力員12名、R7年度利用者10名協力員８名。

質　問　協力員の充足状況は。

福祉部長　R7年度７件の新規利用申請で調整できたのが３件。残り４件の利用者には近隣に協力員がいない状況を説明し、見つかり次第速やかに調整することを伝えた。

質　問　他市の「ふれあい収集」との比較。

福祉部長　他市の公助と本市の互助という、実施主体や業務内容等、事業の性質や目的が異なっている。

質　問　今後高齢化が進む中で「見守りボランティア事業」で対応していけるのか。

福祉部長　協力員の方の８割が60歳以上であるため、高齢化、新たな担い手の確保等が問題点になってくると認識している。

質　問　災害時の地区センター内のごみ置き場の確保は。

危機管理安全部長　基本的には災害の規模、避難所の被害状況、避難者の人数、避難生活の期間等、その時々の状況に応じて総合的に考慮しながら、適切に対応する。



地域のゴミ置き場

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。

姉妹都市議会交流事業

７月15日（水）から16日（木）まで、入間市議会の正副議長と４委員長が佐渡市を訪問し、佐渡市議会と交流しました。

意見交換会
「新議場における議会運営について」

入間市議会（以降入間）：議場内の大型モニターを使用した一般質問時の資料投影は、どのような資料を投影するのか。
佐渡市議会（以降佐渡）：議員が作成する資料のほか、HPの記事や法律の条項等の抜粋など様々であり、規定等は定めていない。
入間：電子表決システムは導入しているのか。
佐渡：議論された経緯はあるが、予算の都合上、後の議論となった。
入間：基本的に質問席で質問・質疑をするとのことだが、議員席でする場合はあるのか。
佐渡：基本的に全て質問席で行い、自席での発言はない。ただし、委員長質疑の場合のみ、委員長が演壇で委員長報告をして、それに対する質疑がある場合は、自席で行う。
佐渡：入間市は、開会後にまず総括質疑、常任委員会、一般質問の順だが、佐渡市は、まず一般質問があり、総括質疑はなく、常任委員会という順である。総括質疑をやるメリットと審査日程順の理由は。
入間：常任委員会での審査前に、会派単位で概略を質疑した方が、他会派の委員にとっても、委員会審査に向け参考になると考える。





「トキの森公園」を視察



トキの森公園は、国の特別天然記念物トキ保護の普及・啓発を行う施設です。『トキ資料展示館』では、担当者の説明の下、トキの保護の歴史や生態を学びました。また、『トキふれあいプラザ』では、大型ケージ内の自然に近い環境でのトキの様子を、身近に観察出来ました。

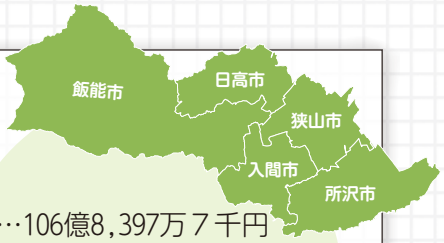


入間市議会議員は、広域の議会

埼玉西部消防組合議会

埼玉西部消防組合とは、入間市、所沢市、飯能市、狭山市、日高市（構成5市）の消防行政を共同で運営し、管内人口約76万人の安全安心を守る、一部事務組合です。消防の広域化により、住民サービスの向上や消防に関する財政基盤の確立と行財政運営の効率化、消防体制の基盤の強化が期待できます。

埼玉西部消防組合議会は、構成5市の市議会議員から選ばれた議員16名（入間市議会からは３名を選出）で構成され、消防組合の予算、条例などの審議、決定を行っています。



令和８年度当初予算…106億8,397万７千円

令和８年度入間市負担額…**19億3,991万６千円**

（令和７年度普通地方交付税に係る消防事務に要する基準財政需要額の割合により算出）



埼玉西部消防局　所沢中央消防署

瑞穂斎場組合議会

瑞穂斎場組合とは、東京都西多摩郡瑞穂町にある公営斎場の瑞穂斎場を運営する一部事務組合で、入間市、東京都福生市、羽村市、武蔵村山市、瑞穂町の４市１町で構成しています。亡くなられた方または火葬許可申請者が組合内の住民である場合は、優先して組合料金で斎場の利用ができます。

瑞穂斎場組合議会は、構成市町より３名ずつ選出した議員15名で構成され、組合の予算、条例などの審議、決定を行っています。

令和８年度当初予算…４億2,523万６千円

令和８年度入間市負担額…**１億2,492万８千円**

（人口割合と火葬実績に基づき算出）



瑞穂斎場

※一部事務組合とは…市町村の事務の一部を共同処理するため設置される法人格を持つ団体で、市町村が普通地方公共団体と呼ばれるのに対し、特別地方公共団体と呼ばれます。ひとつの市町村では対応できない、あるいは広域で取り組んだ方が効率的であるなどの理由により、地方自治法第284条第２項の規定に基づき設置されるものです。

などにも所属しています！

入間西部衛生組合議会



入間西部衛生組合とは、昭和40年に現在の入間市、日高市のし尿及び浄化槽汚泥の処理に関する事務を共同処理するための一部事務組合として発足しました。

昭和42年度から、し尿処理施設「清掃センター」を日高市に開設し、現在では処理水を公共下水道へ放流する施設として運営されています。

入間西部衛生組合議会は、構成市より５名ずつ選出した議員10名で構成され、組合の予算等の審議、決定を行っています。

令和８年度当初予算…４億579万８千円
令和８年度入間市負担額…**２億6,105万６千円**
（規約の規定と人口割合により算出）



入間西部衛生組合　清掃センター

埼玉県都市ボートレース企業団議会

埼玉県都市ボートレース企業団とは、入間市を含む埼玉県内15市で構成されている組織で、戸田ボートレース場のモーターボート競走の施行に関する事務を共同運営する一部事務組合です。入間市議会からは１名の議員（議長）を選出しています。

ボートレース事業の収益金は、構成市に均等割で配分され、入間市でも貴重な財源として活かされています。

監査委員（議会選出）

監査委員とは、地方自治法の規定により地方公共団体に置くこととなっている執行機関で、入間市議会からは１名の委員を選出しています。

市長から独立し公正・不偏な立場で、市関係機関における財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理が、法令等に基づいて適正に行われているか、また、効率的・能率的に行われているかなどの観点から各種の監査を行っています。

入間市都市計画審議会

入間市都市計画審議会とは、入間市都市計画審議会条例に基づき設置されている審議会で、市長の諮問に応じて都市計画に関する事項を調査・審議しています。入間市議会からは２名の委員を選出しています。



入間市マスコットキャラクター「いるティー」

決算特別委員会の現地調査報告

令和７年度の一般会計・特別会計決算に関して、10月２日㈮に、現地調査を実施しました。

入間市駅北口地区地下調整池設置工事

担当課：区画整理課

●工事場所：入間市駅北口土地区画整理地内
●工期：令和５年11月30日～令和８年２月27日
●工事費：12億2,554万6,300円
●貯水量：5,260㎥
●調整池の目的：本施設は、大雨等による霞川流域の氾濫を抑制するため、北口駅前広場等の雨水を集水し、流出量を調整するもの。集水した雨水は、本施設から国道16号を横断し、霞川大和橋付近に放流する。





宮寺地区体育館改修工事

担当課：スポーツ推進課

●工事場所：宮寺567番地
●工期：令和７年７月７日～12月26日
●工事費：１億1,837万1,000円
●工事内容：建築工事、電気設備工事、機械設備工事等
●工事概要：非構造部材の耐震化、屋内･屋外トイレの改修、段差の解消や多目的トイレの設置等により、施設の利便性を高める工事。





いるま市議会だより　No.216



表紙／入間万燈まつりのひっかわせ（令和６年撮影）

編集／議会広報委員会
◎宮岡　治郎
○大野　勉
安道　佳子
町田　健治
末次　正
向口　文恵
双木　小百合
細田　智也
栗山　英美

発行／入間市議会

入間市議会

https://www.city.iruma.saitama.jp/soshiki/gikai/83/index.html

12月定例会日程案

○11月25日（水）開会
○12月　2日（水）総括質疑
○12月　3日（木）総務常任委員会
○12月　4日（金）都市経済常任委員会
○12月　7日（月）福祉教育常任委員会
○12月　9日（水）一般質問
○12月10日（木）一般質問
○12月11日（金）一般質問
○12月17日（木）閉会

※日程については、変更する場合もありますので、議会事務局へお問い合わせください。

問い合わせ　〒358-8511　埼玉県入間市豊岡一丁目16番１号　(04) 2964-1111（議会事務局 内線 5112・5113・5114）